

4.0°Cでは、レジリエントな工場・供給網の構築が必要。他方、お客さまSCM※1に支援ニーズ



★リスク/機会

政府・投資家

気候変動対策・規制等が進まない

★ 異常気象に関する補助等の強化

★ インフラ老朽化への補助強化

原材料調達 (サプライヤー)

製造・サービス (AIDC業界)

利用・消費 (消費者)

廃棄・リサイクル

異常気象の調達網への影響や調達コスト増加が懸念され、調達戦略の最適化が必要

異常気象が激甚化し、レジリエントな工場・生産ラインの構築が必要

気温上昇による労働環境悪化や災害に対するサービス需要が増加

リサイクルは進まず、従来通りに商品が大量消費・廃棄される

原材料



★ 調達網への物理的リスク懸念



★ 森林資源の枯渇によるコスト増加



★ 渇水による半導体価格の高騰

エネルギー



★ エネルギーインフラの老朽化

プリンタ/ラベル・タグ



★ 災害リスクの高い土地の価値低下 (工場移転コスト等)



★ 災害に強い工場・生産ライン (操業・復旧コスト増加)



★ 気候の変化を考慮した供給網



★ 気温上昇による空調設備の操業コスト増加



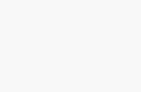
★ 気温上昇による製造・輸送の省人化需要増加



★ 業者選定において、BCP※2対応状況を加味



★ 災害時の保守・サービス需要増加



★ 自然保全や災害レジリエンス強化の需要増加

★ 輸送網への物理的リスク懸念

市場



★ 資源枯渇による原材料調達が困難になる可能性も

※1 SCM: Supply Chain Management (供給網管理)

※2 BCP: Business Continuity Plan (事業継続計画)